

「ふくすいき ~福水企~」通信

令和7年12月号



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●福岡地区水道企業団議会議員の退任・就任

第2区（筑紫地区）選出の 関井 利夫 議員（大野城市）が、令和7年10月31日付で企業団議会議員を退任され、後任として、第2区から 平井 信太郎 議員（大野城市）が11月1日付で企業団議会議員に就任されました。

＜議会事務局 森＞



平井 信太郎 議員

●福岡地区水道企業団 少雨傾向対策会議【開催しました】〔11/4（火）企業団本庁舎〕

福岡都市圏の水道水の約3分の1を賄っている筑後川の状況は、観測史上最も早い梅雨明け等の影響で、関連ダムの貯水量が減少したものの、8月上旬の降雨により、貯水量は一旦回復し、渇水の不安は解消されていました。

しかし、その後に少雨傾向が続いたことで、再び筑後川の流量が減少し、11月4日に関連ダムからの放流が再開されたことから、同日に少雨傾向対策会議を開催し、企業長他一同で今後の対応等を協議しました。

このような水の状況を受け、福岡都市圏の皆様には、限りある水資源の有効利用のため、水をより大切に使用して頂きますよう、ご協力をお願いします。

＜企画調整課 山崎＞



水は大切に
使いましょう。

●全国水道企業団協議会第56回企業長・事務局長経営会議【出席しました】

〔11/13（木）・14（金） 滋賀県長浜市〕

『全国水道企業団協議会第56回企業長・事務局長経営会議』が滋賀県長浜市で開催され、全国の水道企業団等から会員約80名が出席し、当企業団からは名古屋企業長他職員1名が出席しました。

11月13日は長浜市内の会場で「企業団における広域化の事例及び検討状況について」などの9項目の懇談事項の協議や、国土交通省水管理・国土保全局水道事業課（上下水



企業長・事務局長経営会議

道審議官グループ) 課長補佐の峯健介氏による「水道行政の最近の動向について」の講演がありました。

11月14日は、薬品注入ポンプ等を製造する兵神装備株式会社滋賀事業所の視察を行いました。

＜牛頸浄水場 永元＞

●江川・寺内ダム関係利水者会議 令和7年度後期 提言活動【出席しました】

〔11/17(月)・18(火) 東京都千代田区、埼玉県さいたま市〕

江川・寺内ダム関係利水者会議による令和7年度後期提言活動が行われ、当企業団からは名古屋企業長と職員1名が参加しました。

現在進められている筑後川水系ダム群連携事業の促進等について、国土交通省、財務省、地元選出国會議員、独立行政法人水資源機構へ提言書を提出しました。

＜企画調整課 河野＞



提言活動 (国土交通省)
(左から2番目: 名古屋企業長)



提言活動 (財務省)
(左から2番目: 名古屋企業長)

●ドローンを使用した水管橋点検【実施しました】〔11/18(火)～11/26(水)〕

令和6年の水道法施行規則の改正により、水管橋(※1)などは5年に1回以上の定期点検が義務化されました。

これを受けて、当企業団では、これまで仮設足場や橋梁点検車を使っていた点検に、新たにドローン(無人航空機)を導入しました。具体的には、ドローンに搭載したカメラで水管橋を撮影し、その画像をもとに劣化状況を分析する方法で、令和7年度から運用を開始しました。

この取り組みは、DX(デジタルトランスフォーメーション)の一環として進めているもので、国のガイドライン(※2)に沿って、操縦資格を持つ職員が安全に点検を実施し、点検費用の削減や作業期間の短縮など、さまざまな効果が期待されています。

これからも、より安全で効率的な水道施設の管理を目指して取り組んでいきます。

＜施設課 赤尾＞



資格保有の職員によるドローンの操作



水管橋の劣化状況をドローンで撮影
(水色の管が当企業団の水道管)

※1 水管橋: 河川、道路等の上を横断する水道管

※2 ガイドライン: 「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」(令和5年3月、厚生労働省)

●用水供給事業促進対策委員会【開催しました】〔11/25(火) 企業団委員会室 他〕

企業団議員全員で構成される用水供給事業促進対策委員会が開催され、委員に対し福岡導水施設地震対策事業等について説明を行いました。

また、委員会終了後は監査委員と合同で『寺内ダム』の現地視察を行い、水資源機構の木屋所長・林室長から寺内ダムの管理及び、再生事業の概要についての説明を受けました。 <総務課 島崎>



用水供給事業促進対策委員会



寺内ダムの現地視察

●安全パトロール〔11/27（木）海水淡水化センター〕

当企業団では毎年、労働安全衛生法に基づく『労働者の危険又は健康障害を防止するための措置』の一環として、安全衛生委員会委員による『安全パトロール』を実施しています。

今年度は 11 月 27 日に海水淡水化センターにて実施し、プラント内の作業環境等の点検を行いました。また、施設見学者が利用するルートでは、安全・安心して施設を見学できるように、通路や展示物の安全性などを重点的に確認しました。

パトロールを終えた委員からは「全般的にきれいに整理されている」との意見がある一方、施設見学者と従業員の安全確保に向けた改善要望もあり、今後の安全管理を検討するうえで大変参考となる意見があげられました。

今後、あげられた意見をもとに、より安全で安心な職場づくりに努めてまいります。

<総務課 後藤>



施設見学ルートを確認



安全パトロールの手順打合せ

●大野城市 市民総ぐるみ防災訓練【参加しました】〔11/29（土）大野城市大野小学校〕

11 月 29 日（土）に大野城市内で一斉に行われた『市民総ぐるみ防災訓練』に参加しました。

大野小学校では、防災に関する関係機関や事業者によるブースが設置され、当企業団も大野城市上下水道局及び福岡市水道局と合同で出展しました。水道に関するクイズ、水道水の飲み比べ（利き水コーナー）を実施し、訓練を終えた家族など 100 名以上にご参加いただきました。今回の訓練が防災意識を高めるとともに福岡都市圏の水事情を知っていただく機会となれば幸いです。

<牛頸浄水場 平井>



展示ブースに並ぶ参加者



利き水を体験する堤大野城市長（左）

■水源地域との交流事業

実施レポート

●水郷ひたの森づくり（植樹）【参加しました】〔11/15（土）大分県日田市〕

日田市では、森林の持つ地球環境保全や水源かん養、土砂災害防止などの公益的機能を守り育てるとともに、上下流域の住民同士の交流と親睦を深めることを目的として『市民参加の森づくり大会』を開催しています。

昨年は大雨の影響で中止となりましたが、今年は晴天にも恵まれ、会場となった萩尾公園の市有林には、福岡都市圏の住民約 60 名をはじめ、日田市民、みどりの少年団、久留米市民、福岡市水道局、当企業団職員など、計約 180 名が参加しました。

開会式では、水源地域である日田市への感謝の気持ちを込めて、当企業団および福岡市水道局から苗木を、久留米市上下水道部からは苗木代を贈呈しました。

その後、参加者はヤマモミジとヤマザクラの苗木、計 500 本を植樹し、「環境が今より良くなりますように」や「(水源地域への感謝を込めて) ありがとう」など書いた『木のプレート』を苗木に掛けていました。作業後には、地元の味『だご汁』と『おにぎり』がふるまわれ、参加者は自然の中で和やかな昼食のひとときを楽しみました。

午後には、福岡都市圏の参加者は江戸時代の町並みが残る豆田町を訪れ、歴史と文化に触れながら、地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。

＜総務課 川中＞



苗木贈呈式
(右: 田川副企業長から左: 棕野日田市長へ)



急な斜面での植樹作業



子どもも大人も協力して植樹作業



記念撮影

しもとごうち
●水をつなぐ流域交流 in 下戸河内 【参加しました】〔11/16（日）朝倉市江川〕

江川ダムの下流に位置する下戸河内地区では、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催により、水源地や水源林の保全、そして上下流域住民の交流を目的とした活動が毎年行われています。

今年は、下草刈りや植樹に加え、昼食会や間伐材を活用したゲームなど、自然とふれあいながら楽しめる多彩なプログラムが実施されました。

当日は、地元住民をはじめ、福岡市民、独立行政法人水資源機構、朝倉市、福岡市水道局、当企業団などから、60 名を超える参加者が集まりました。昼食会では、参加者が協力して作った温かい豚汁と、地元の美味しい鶏の串焼きがふるまわれ、自然の中での食事を楽しみながら交流を深めました。

また、間伐材を活用した団体対抗の『モルック大会』も開催され、上下流域の住民が一体となって盛り上がる、笑顔あふれるひとときとなりました。

今回の活動を通じて、水源環境への理解が深まるとともに、地域を越えたつながりがより一層強まる機会となれば嬉しいです。

※モルック：フィンランド発祥の、木の棒（モルック）で的を倒して得点を競うスポーツ <総務課 川中>



林朝倉市長のあいさつ



下草刈り



大賑わいのモルック大会



記念撮影

●小石原川・佐田川『ノーポイ』運動【参加しました】〔11/26（水）朝倉市佐田〕

小石原川流域の江川ダム及び佐田川流域の寺内ダム周辺において、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の共催により、河川愛護および水産資源保護を目的とした清掃活動が毎年実施されています。

今年は、約 140 名が参加し、江川ダムおよび寺内ダム周辺の 2 エリアに分かれて清掃活動を行いました。

寺内ダム周辺では、水資源機構、福岡都市圏広域行政事業組合、構成団体（大野城市、太宰府市、春日那珂川水道企業団、古賀市）、そして当企業団の職員など、約 70 名が参加しました。参加者は、ダム周辺に散乱していた空き缶、ペットボトル、びん、タイヤなどのごみを回収し、リサイクルや適正処分のための分別作業を行いました。

今回の活動を通じて、一人ひとりが水資源と自然環境の大切さを再認識する貴重な機会となりました。今後も、美しい河川を次世代へ引き継ぐため、水源地域と連携しながら清掃活動に積極的に取り組んでまいります。

＜総務課 川中＞



寺内ダム周辺でのごみ回収



脇道でのごみ回収



記念写真



参加者全員でゴミの分別作業

●上秋月湖水源の森づくり【参加しました】〔11/30（日）朝倉市上秋月〕

朝倉市の小石原川ダムの水源林において『上秋月湖水源の森づくり実行委員会』（構成：朝倉市、朝倉森林組合、福岡市、公益財団法人福岡市水道サービス公社、当企業団）の主催により、植樹活動が実施されました。

本活動は、朝倉市と福岡市の住民が、森林保全活動や交流を通じて、水を育む水源林や森林の重要性について理解を深め、さらなる連携と親睦を図ることを目的としています。

平成 29 年度の九州北部豪雨災害や毎年のように発生する自然災害の影響により中止が続いていましたが、今年は 9 年ぶりの再開となり、応募人数は 200 名を超えるなど、待望の開催となりました。

当日は、両市の住民をはじめ、実行委員会の関係職員など 66 名が参加し、『ヤマザクラ』の苗木 200 本を植樹しました。植樹後には、朝倉森林組合の指導のもと、鹿による食害を防ぐための保護カバーを苗木に掛ける作業も行いました。



植樹作業は保護カバーを掛けて完成

閉会後には、福岡市民は『筑前の小京都』として知られる秋月の町並みを散策し、秋晴れの中、自然と歴史に触れるひとときを楽しみました。

今後も、こうした活動を通じて、水源地の保全と上下流域のつながりを大切にしながら、持続可能な森づくりを進めてまいります。

＜総務課 川中＞



記念写真



秋月の紅葉

●合所ダム水源の森を守るセラピー【参加しました】〔12/6（土）うきは市〕

福岡都市圏の水源^{ごうしょ}地『合所 ダム』がある『うきは市』で、自然の魅力を五感で感じるイベント『森を守るセラピー』が開催されました。

この事業は、福岡都市圏の住民に、森林セラピーや保全活動を通じて、筑後川の水の恩恵や、その水を育む水源林の大切さを学んでいただくとともに、うきは市の豊かな自然を体感してもらうことを目的としています。

当日は、25 名が参加し、癒しの旅先案内人とともに、日本棚田百選に選ばれている『つづら棚田』や森林の中を散策し、澄んだ空気や木々の香り、美しい景色を楽しみながら、心安らぐひとときを過ごしました。お昼には、地元で採れたジビエを使った BBQ が振る舞われ、参加者からは「初めてうきは市のことを知ったので、別の機会に足を運んでみたいと思いました。森林セラピー体験も、ジビエ・ランチも堪能しました。案内人の方にも感謝です」などの感想が寄せられ、参加者の笑顔とともに、自然の恵みを味わうひとときとなりました。



森林浴

＜総務課 川中＞



山びこの反響を楽しめる丘



記念写真

■水資源機構だより

●筑後大堰特別見学会を開催しました

筑後大堰が管理開始から 40 周年を迎えたことを契機に、令和 7 年 10 月 18 日（土）、10 月 25 日（土）及び 11 月 8 日（土）に、普段では見ることのできない場所も案内する『特別見学会』を開催しました。『特別見学会』の開催は管理開始後初めてで、計 47 名の幅広い年代の方々にご参加いただきました。

当日は、日頃行っている筑後大堰の概要説明や魚道見学に加えて、『特別見学会』ならではのコースとして開閉機室・電気室(※)の見学と、水上巡視体験を行いました。筑後大堰の役割や環境への取り組みとともに、堰の運用を支える様々な設備について知っていただき、見学者からも「貴重な経験だった」という感想をいただきました。

今後も、筑後大堰の役割を広く知っていただけるような取組を行って参りますので、ホームページ等での告知にご期待下さい。



魚道見学

※開閉機室：筑後大堰のゲートを動かすモーターなどの設備が入っている部屋

電 気 室：筑後大堰で使用する高圧電気を受電し、所定の電圧に変換する設備等が入っている部屋



電気室の見学



水上巡視体験



筑後大堰HPはコチラ

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

12 月、1 月の予定

●大善寺 玉垂宮の鬼夜（1/7（水）久留米市大善寺町）

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

国の重要無形民俗文化財に指定されている「大善寺玉垂宮の鬼夜」が、1 月 7 日に開催されます。この行事は、大晦日から正月 7 日まで続く『鬼会』の最終日に行われ、1600 年以上の歴史を誇る日本三大火祭りの一つです。

当日は、神事『鬼面尊神渡御・還御』や『汐井汲み神事』などが執り行われた後、午後 9 時の二番鐘を合図に、奥神殿から御神火が運ばれ、大松明に一齐に点火されます。

長さ約 13 メートル、重さ約 1.2 トンの大松明 6 本が紅蓮の炎を上げながら燃え上がり、締め込み姿の氏子若衆が『カリマ



勇壮な大松明廻し

タ（先が二又になった檜の棒）』で支えながら本殿を巡る『大松明廻し』は、まさに圧巻の光景です。

また、火の粉を浴びると無病息災のご利益があるとされ、例年多くの参拝者で賑わいます。新年の無病息災や家内安全を祈願し、ぜひこの迫力ある伝統行事をご体感ください。

日 時 令和8年1月7日（水）13：00～23：10 頃

※ 大松明点火は20：40 頃～

開 催 場 所 大善寺玉垂宮（久留米市大善寺町宮本 1463-1）

問い合わせ先 大善寺玉垂宮社務所 TEL 0942-27-1887

■ 水道管の凍結防止策

寒さが厳しくなると水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破裂する事故が起きることがあります。水道管の水の凍結を防ぐには保温が一番です。

○ 低温注意報が発令されたら

低温のため水道管の凍結・破裂など著しい被害が予想される場合、低温注意報が発令されます。冬の冷え込みが厳しいときは、気象情報に注意していただき、次の凍結防止策を行ってください。



福岡管区気象台
HPはコチラ

○ 特に凍りやすい水道管

- ・ 屋外に露出している水道管
- ・ 風当たりが強く、日かげにある水道管
- ・ 水道管が北側にあるところ

○ 家庭でできる凍結防止策

- ・ 露出している管に保温チューブ（市販品）で蛇口部分にタオルを巻く。
タオルを巻いた上から、ビニール袋などで防水してください。
- ・ メーターボックスの中にも、新聞紙を丸めてビニール袋に入れたものを詰めてください。
その上に、タオルをかけ保温してください。
※寒波が過ぎたら、取り除くのを忘れずに！

○ 水道管が凍ってしまったときは？

- ・ 凍った部分にタオルなどを被せて、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。
※急に熱湯をかけると、水道管が破裂しますので注意してください

○ 水道管が破裂した場合

- ・ メーターボックス内の元せん（バルブ）を閉め、水を止めてください。
破裂した箇所に布やテープをしっかり巻き付けてから、お住いの市町等の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。



福岡市水道局指定
給水装置工事業者
一覧はコチラ

水源情報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています。
見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



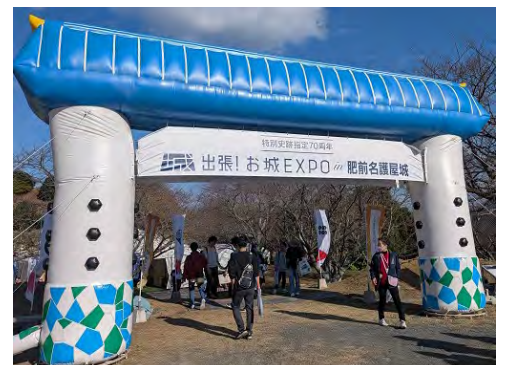
編集後記

11月23日・24日、唐津市鎮西町で佐賀県と唐津市が主催する「出張！お城 EXPO in 名護屋城」へ行ってきました。

会場となった佐賀県立名護屋城博物館や肥前名護屋城跡一帯では、テレビでもおなじみの小和田 哲男氏・平山 優氏といった歴史学者によるトークショー、茶会、散策ツアーなど多彩な催しが行われ、多くの来場者で賑わっていました。

戦国時代、全国の大名が集結し一時的に日本の中心となった名護屋城の歴史を改めて学ぶ機会となり、城の石垣技術の進化や、国内拠点としての役割が約7年にわたる長い期間だったことに驚きました。

広大な城跡を歩き、本丸跡に辿り着くと、豊臣秀吉の鎧が来場者を迎えており、記念撮影を楽しむ姿が見られました。周囲には戦国武将の『のぼり』が並び、当時の熱気を感じさせる光景に、つい見入ってしまいました。



『出張！お城 EXPO in 名護屋城』の入口



石碑の前に鎮座する豊臣秀吉の鎧



本丸跡に並ぶ戦国武将の『のぼり』

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X（旧 Twitter）

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Instagram ページ



福岡地区水道企業団

